

(1) 2021年度事業実施状況

(ア) 隣保館事業

2021年度隣保館事業実施状況

・研修・学習・会議

実施日	事業名	事業内容	対象者	参加者
6月25日	北条中学校1年生人権学習会	人権啓発の拠点としての役割	中学1年生	75
8月20日	中央育英高校 職員研修	現地研修	育英教職員	24
10月12日	大栄中総合学習	子どもの人権について	大栄中1年生	5
10月28日	東伯郡人権・同和教育推進連絡会	現地研修	東伯郡内こども園職員	8
11月16日	大栄小学校校外学習	ほくほくプラザについて	大栄小3年生	65
11月17日	北条小学校校外学習	ほくほくプラザについて	北条小2年生	68
11月26日	西部隣協-現地訪問視察研修会	現地研修	西部隣保館職員	16

計 261

・定期開催事業

実施日	事業名	事業内容	対象者	参加者
第2.4土曜日	各種教室〈習字教室〉	小・中学生は学年ごと、大人は個人に合わせて字を書く。24回開催	小中学生と大人	548
第3金曜日	おしゃべりサロン	軽食・場所を提供。11回開催	主に高齢者	72
第2日曜日	絵本の読み聞かせ会	絵本読み聞かせ。9回開催	幼児とその保護者	501
随時	相談事業	各種相談	主に地域住民	59

計 1,180

・期間開催事業

実施日	事業名	事業内容	対象者	参加者
10月22日～12月17日 (毎週木曜)	スマホ・タブレット講座	スマホ・タブレット中級者向け。応用操作設定ほか全8回 開催	一般	20

・広報事業

実施日	事業名	事業内容	対象者	参加者
最終木曜日	ほくほくプラザだより	広報紙発行。全戸配布	北栄町内全戸	

・2021年度 分かりやすいじんけんの話（講演会）

実施日	回	テーマ	講師	対象	参加者
6月11日	第1回	犯罪被害者等の人権問題	犯罪被害者自助グループ「なごみ」の会 徳田さよ子さん	一般	28
<p>「犯罪被害者遺族の想い」と題し、加害者側と被害者側に対する支援の違い、理不尽な裁判に対する憤りなど事件がおこったあの日から毎日忘れることができない苦しみや、報道ではほとんど語られない被害者側の複雑な想いを伝えられた。誰もが被害者やその家族になり得るいま、私たち一人ひとりがもっと関心をもつこと、犯罪被害者やその家族・遺族に対し、同情ではなく被害者が置かれた状況をよく理解し、配慮した対応を心掛ける大切さについて学ぶ。</p>					
7月18日	第2回	同和問題 (トーク&コンサート)	小学校教員 橋本智洋さん	一般	62
<p>「ふるさとに生まれ ふるさとに生きる」と題し、差別は人と人とのつながりを分断するもので、今もなお同じように苦しんでいる人たちがいるからこそ社会全体で考えみんなで解決していかなければならないことや、自分のふるさとを否定的に捉えず、理解してくれる人は必ずいると信じながら講演を行うことで一人でも多くの方に自分事として考えてもらいたい人と人との出会いやつながりを大切にしてほしいと歌と共に伝えられた。</p>					
9月22日	第3回	性的マイノリティの人権	ここいろhiroshima 高畑桜さん・當山敦己さん	一般	97
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のためリモート講演で実施。「自分らしく生きる～心も体もいろいろ、彩り豊かでええじゃん!～」と題し、あたりまえとされる性のあり方の中で、先の見えない不安と“ふつう”の圧力に押しつぶされそうになったことや両親にありのままの自分を打ち明けたことで「安心感」と「希望」を手に入れることができたこと、「違う部分」もその人の大切な一部だと伝えられた。セクシュアリティを理由に自分や友達を否定しないこと、ありのままの自分でいいことを学ぶ。</p>					
10月20日	第4回	SDGsの推進	吉本興業 ほのまるさん	一般	25
<p>「発見! SDGs～未来をもっと考えよう」と題し、世界中が抱えている貧困・戦争・温暖化・環境破壊など様々な問題を世界全体で考えていかなければならないこと、SDGsは「人が生きること」と関連し私たちの生活にも繋がっていること、地球に住む私たち一人ひとりが真剣に取り組まなければならないことを伝えられた。2030年まであと9年、アースオーバーシュートデイ(地球が一年間で再生する資源を人類が使い果たす日)を少しでも遅らせることを目標に日頃から「もったいない」という思いを忘れずに生活していくことの大切さを学ぶ。</p>					
12月10日	第5回	インターネットにおける人権問題	システムエンジニア 井上隆行さん	一般	18
<p>「SNSとトモダチ～現代社会にあふれる情報～」と題し、インターネットによりコミュニケーションの輪が広がりがり便利になる一方で、インターネットを悪用した行為により、誹謗中傷や個人のプライバシー侵害などが発生し大きな問題となっていることを伝えていただき、インターネット上における様々な問題に対する正しい理解やマナー、被害にあった場合のノウハウ、SNSの現状と課題について学ぶ。</p>					
1月21日	第6回	東日本大震災等の災害の被災者に関する人権問題	とっとり震災支援連絡協議会 事務局長 佐藤淳子	一般	14
<p>「災害が人権を奪う～東日本大震災等、被災の現状から～」と題し、東日本大震災から10年、鳥取県中部地震から5年たった今、振り返りとともに、災害時における風評被害やいじめ、差別など人権侵害が生じないよう啓発の取り組みについて、また、人権を尊重した災害避難者支援の在り方についても学ぶ。</p>					

計 244

・2021年度 相談件数

活動内容	健康	就労	生計費	教育費	援護資金	人権	地域環境	地域組織	その他	計
4月									6	6
5月									7	7
6月									5	5
7月								2	3	5
8月									3	3
9月								1	4	5
10月								1	4	5
11月								3	3	6
12月								1	3	4
1月								2	1	3
2月									6	6
3月								1	3	4
計	0	0	0	0	0	0	0	11	48	59
前年同期	2	0	0	0	0	2	1	16	57	78
前年比	▲2	0	0	0	0	▲2	▲1	▲5	▲9	▲19

【健康】病気に関すること 【環境】 地域の環境に関すること
【生計】生活費に関すること 【組織】 地域に関すること
【教育費】教育費用に関すること 【その他】 項目に当てはまらないもの
【人権】人権に関すること (書類の確認・傾聴・提出物)

2021年度 隣保館行事写真



絵本の読み聞かせ会



分かりやすいじんけんの話



おしゃべりサロン



ほくほく食堂



2021年度 児童館行事自己点検表

【自己採点】 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果のとおり △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

実施日	事業名	事業内容	目的・効果	分類	参加者数	満足度	振り返り	自己採点
4/10(土)	科学教室 ドライアイス を使って楽し い科学実験	ドライアイスを使っ た楽しい科学実験 をする。	子どもたちの科学す る心・考える力・自然 に対する豊かな感性 を育てる。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼 児 4人	とても楽しかった 21名	・初めにドライアイスは昇華して体積が 750倍になることや取扱いの説明をしてく ださり、以後の実験を通して、子どもたち の科学する心や自然に対する感性が 育ってくれたと思います。 ・ドライアイスを使ってのシャーベット作り やアイスクリーム作りが好評でした。	◎
					小学生 18人	まあまあ楽しかった 1名		
					大 人 5人	楽しなかった 名		
4/17(土)	創作教室 「手作りボ ード&お宝さ がし」★予定 していた体 験教室「坐 禅&お台場 で遊ぼう！」 変更の為	手作りボードをつ くり家族や友達にメ ッセージを書く。 お宝を交代で隠し 見つけるゲームを する。	・ものづくりの楽しさや 作ったものを生活で 使う喜びを味わう。 ・豊かな創造力と自由 な感性を育む。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼 児 0人	とても楽しかった 7名	・コロナ感染拡大防止の影響で大広寺さ んより坐禅体験中止の連絡。また雨天 の為、屋内での企画に変更し行った。 検温、健康観察、3密を防ぎながら行っ た。 ・出来上がったボードには家族や友達に 向け思い思いのメッセージが書いてあり 良かった。お宝探しも時間制限を設けな がら行ったが盛り上がり楽しんでもらえ た。	◎
					小学生 9人	まあまあ楽しかった 2名		
					大 人 0人	楽しなかった 0名		
5/15(土)	体験教室 フレンズの おせんべい 作り&販売 体験をしま う！	フレンズでおせん べい作り体験 ほくほくで昼食 お台場いちばでフ レンドのおせんべ いをフレンズと協働 で販売体験	・就労支援事業所フレ ンズと協働することで 親しみを持つ。 ・地域の名物のおせ んべい作りを通して企 業の努力を知り愛着 を持つ。 ・協働で販売体験をす ることで簡単な経済の 仕組みと物を売るむ ずかしさを知る。	1. 身体健康増進 2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	中学生 1人	とても楽しかった 名	・おせんべい作りを通して企業の努力や 働く方の大変さが分かった。 ・100セットのおせんべいをアイデアのあ る呼び込みや元気さで完売でき物が売 れる喜びやどうしたら売れるかが考えら れた。 ・フレンズと協働することにより親しくなれ て優しさを知った・シトラスリボンを広く 知ってもらえた。	◎
					小学生 12人	まあまあ楽しかった 名		
					大 人 13人	楽しなかった 名		

実施日	事業名	事業内容	目的・効果	分類	参加者数	満足度	振り返り	自己採点
5/22(土)	体験教室 田植え&どろんこ遊び	田んぼに苗を植える どろんこ遊びをする	普段当たり前のように 食べているお米の成長過程を知り農家の方の苦勞と努力を知るとともに足の裏で自然を感じる ほくほく食堂のお米を作る	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人	とても楽しかった 12名	・大栄放課後児童クラブと連携できた ・田植えとどろんこ遊びで自然を体感できた ・地域の方が協力してくださった	◎
					小学生 13人	まあまあ楽しかった 1名		
					大人 4人	楽しくなかった 名		
6/12(土)	体験教室 ちまきをつくらう！	・粉を混ぜて団子を作り笹で巻く。 ・「端午の節句」の由来を伝える。	・季節の行事を伝え楽しむ。(由来、作り方等) ・3密を防ぎながら参加者同士の交流の場にする。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 0人	とても楽しかった 24名	・対面式を避け個々に捏ねる、丸める、笹で巻く工程を各自体験することが出来た。 ・笹を巻くのが少し難しかった子もあったが団子を捏ねる際は生地感触を楽しみながら季節の行事が楽しめた。 ・コロナ対策(検温・マスク・アルコール消毒・換気・3密回避)しながら衛生面、安全面にも配慮しながら行えた。	◎
					小学生 27人	まあまあ楽しかった 3名		
					大人 2人	楽しくなかった 0名		
6/19(土)	木工教室 ドントンドンドンくぎ打ち名人	自分の作りたい作品のイメージを膨らませ、いろいろな形や大きさの木切れの中から材料を選び、自由な発想で金づちでくぎを打ち、色を塗って作品を仕上げる。	ものづくりの楽しさや達成感を味わうとともに豊かな創造力と自由な感性を育む。子どもたちが木の良さを感じ、自然を大切にすることを育てる。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人	とても楽しかった 15名	・新型コロナウイルス感染予防対策のため別館いっぱいになって作業をした。 ・親子での参加が2組あり、親子で楽しそうに製作する姿が見られた。 ・普段あまりすることのないくぎを使った木工工作を体験する機会が提供できてよかった。 ・遊んでしまって作品を作ろうとしない1年生児童が1名いたので、次回は低学年は保護者同伴としたい。	○
					小学生 15人	まあまあ楽しかった 0名		
					大人 2人	楽しくなかった 1名		
7月27日	米花商店街ではたらいしてみよう！	米花商店街ではたらく 事前学習であいさつ・マナー英会話を学ぶ働いた対価で北栄子ども通貨を商工会からいただく	・人に関わる楽しさや役立ち感を感じる ・町に親しみ愛着を感じてもらおう ・北栄子ども通貨をもらい保護者と使うことではたらこことの喜び経済の仕組みを学習する	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 人	とても楽しかった 15名	・参加児童が人と関わることや働くことの楽しさむずかしさを学べた ・自分が苦手な事にも勇気を出してチャレンジすることができた ・米花商店街で働くことにより米花商店街や北栄町をより知る事が出来た	◎
					小学生 20人	まあまあ楽しかった 3名		
					大人 5人	楽しくなかった 2名		

実施日	事業名	事業内容	目的・効果	分類	参加者数	満足度	振り返り	自己採点
7月29日	ほくほく食堂 中止	鳥取県版コロナ特別警報により中止 北条・大栄放課後児童クラブの子ども先生200人にカレーの提供			幼児 1人 小学生 1人 大人 1人	とても楽しかった 名 まあまあ楽しかった 名 楽しなかった 名		
8月21日	月と惑星の観察会	小川先生による月と惑星の話 月と惑星を望遠鏡で観察 星取県のDVD視聴	星取県の素晴らしい星空を観察して自県を誇りに思う気持ちやその素晴らしさを守って行こうという気持ちを育む	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 5人 小学生 9人 大人 12人	とても楽しかった 名 まあまあ楽しかった 名 楽しなかった 名	・蜘蛛ヶ家山の土砂崩れや天候不順で開催をぎりぎりまで検討して大変だった。 ・行事中運よく晴れ月や惑星を望遠鏡で観察できて檀家者の方々が感激されていた。 ・コロナ対策として講師の方の2週間の健康観察、県外移動自粛、共有物を共有しない工夫ができた。	◎
8月28日	お魚教室 「地域の生き物をさがそう！」	・タモの使い方や採取のやり方を教わる。 ・町内の用水路を周り生き物を採取し中前先生に解説してもらいその後リリースする。	・地域の生き物から環境を考え自然を大切にできる子を育てる。 ・自然体験をすることで想像力を豊かにし行動力を身につける。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人 小学生 11人 大人 5人	とても楽しかった 11名 まあまあ楽しかった 1名 楽しなかった 0名	・コロナ対策(検温、健康観察、マスク、アルコール消毒、3密)に十分配慮しながら行えた。 ・屋外活動なので安全面や熱中症にも気をつけながら出来た。 ・1年生も保護者同伴にしたので親子で体験でき楽しんでもらえた。 ・中前先生のお話や解説など興味深々に聞いていた。	◎
9月18日	自然体験教室 「カヌー&いかだ体験」	・船上山少年自然の家に行きダム湖でカヌー&いかだ体験をする	・自然の中でのカヌー&いかだ体験を通して「自然の素晴らしさや関わり方」「友達と協力することの大切さ」「カヌー&いかだの楽しさ」を実感する	1. 身体の健康増進 2. 心の健康増進 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 0人 小学生 19人 大人 7人	とても楽しかった 14名 まあまあ楽しかった 4名 楽しなかった 0名	・参加保護者の方がサポートしてくださってよかった。 ・船上山の先生と子ども達と話し合いカヌーを開催したが寒さ対策を考えないまま実行してしまって反省。 ・大人の話、連絡をきちんと聞けない子がいて迷惑をかけてしまった。 ・自然の素晴らしさ恐怖両面を知り自然と人間の共生の大切さが少し学べた。	○

実施日	事業名	事業内容	目的・効果	分類	参加者数	満足度	振り返り	自己採点
9月25日	ボランティア体験教室 「おもしろゴミひろった選手権 海岸清掃をしよう！」	・海洋ゴミ問題に海岸清掃を通して楽しく学び取り組む ・ボランティア体験に地域の事業所と連携して行うことで地域を身近に感じちいきみんなで子	・エコフューチャー大崎さん、環境エネルギー課山本さんを講師に地球教室を開催 ・おもしろゴミ拾いながら海岸清掃 ・ゴミの山を撮影しSNSで発信	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 6人	とても楽しかった 名	・たくさんの企業・事業所と連携出来て良かった。 ・地球教室で子どもも大人もゴミについてたくさん知ることができ今日から自分に何が出来るのか何をしまければならないのかよくわかった。 ・はじめてドローンがとべてよかった。	◎
					小学生 57人	まあまあ楽しかった 名		
					大人 38人	楽しくなかった 名		
10月9日	体験教室 「ハロウィン&クッキー作り」	・ハリス先生にアメリカのハロウィンの話を聞きトリックオアトリートのマナーを学ぶ ・お化け屋敷とクッキー作りでハロウィンを楽しむ	・外国の文化を知ることで文化の多様性に気づき違いを理解する	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 5人	とても楽しかった 24名	・ハロウィンを通して外国の文化が学べて良かった。 ・楽しくクッキー作りが出来て良かった ・おばけやしき委員に向上心がわいてよかった。	◎
					小学生 22人	まあまあ楽しかった 2名		
					大人 7人	楽しくなかった 0名		
10月30日	体験教室 「北栄町の自然エネルギーツアー & 自然エネルギーでやきいも作り」	・風力発電について環境エネルギー課の方の話を聞く ・エナテクスで太陽光パネルについて話を聞き実際に自然エネルギーを使っているのを実験をする ・バイオマスを使ってやきいもつく	・北栄町が推進している自然エネルギーについて学び自町を誇りに思う ・自然エネルギーの凄さを実験を通じて体感する ・SDGほくほくプラザ応援宣言企業と連携することで地域みんな	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 5人	とても楽しかった 19名	・北栄町の風力発電についてたくさんまなべてよかった ・自然エネルギー(太陽光)のすごさがわかった ・バイオマスとは何か、どうやって使うのか、なぜ地球にやさしいのかを初めて知った子が感心していた ・ほくほくプラザ応援企業と連携できよかった	◎
					小学生 17人	まあまあ楽しかった 1名		
					大人 11人	楽しくなかった 0名		
11月20日	自然体験教室 大山で謎ときオリエンテーリング	大山青年の家周辺を謎を解いたり指定された木の実を集めたり班ごとに協力ゲームをしながらオリエンテーリングをする	大山青年の家で頭と体を使いながら自然に触れそれを守っていく気持ちをほくほくむ ・班で協力して謎を解くことで仲間作りをする ・自然で色々な遊びができることを次の学びにつなげる	1. 身体健康増進 2. 心の健康増進 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人	とても楽しかった 名	豊かな自然に触れあいながらたくさん体や頭を使ってよかった ・何度もけんかしたり勝手な行動をとったり仲間作りにならなかつた場面があったがそれを反省する姿勢と改善を模索する行動があつてよかった ・リーダーがいたほうがまとまる行事、行動範囲が広い行事の班分けで反省点があつた	△
					小学生 15人	まあまあ楽しかった 名		
					大人 1人	楽しくなかった 名		

実施日	事業名	事業内容	目的・効果	分類	参加者数	満足度	振り返り	自己採点
11月27日	創作教室 「キラキラ 光っちゃう！ クリスマスツ リー」	・Kクレイ粘土に絵 の具を混ぜ好みの 色の粘土を作り、 細く伸ばして円錐 型のランプシェード を作る。その上から 螺旋状にLEDライ トを巻きつける。	・ものづくりの楽しさや 作った物を生活で使う 喜びを味わう。 ・豊かな創造力と自由 な感性を育む。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼 児 2人	とても楽しかった 21名	・ガムのように伸びるKクレイ粘土の感触 や特徴を生かした素敵な作品になり参 加者に喜んでもらった。 ・昨年の反省を踏まえ1年生は親子で 作ってもらったのがよかった。 ・友だちや親子で協力しながら最後まで 取り組めた。 ・お手伝いや片づけも積極的にする姿も 見られた。	◎
					小学生 26人	まあまあ楽しかった 3名		
					大 人 8人	楽しくなかった 0名		
12月18日	体験教室 「門松づく り」	竹の植木鉢に葉 牡丹などの植物 や餅花、水引、干 支のかざりを飾り 付けて門松づくり をする。ほくほく 米のもち米で、豊 作を祝ってもちつ きをし、餅花の餅 と試食のきな粉も ちをつくる。	・日本の伝統文化 のいわれを学び実 際に門松を作って 良い年になるよう に祈る ・ほくほく 米の豊作を祝う	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 5. 豊かな情操	幼 児 3人	とても楽しかった 28名	・児童館行事とおしゃべりサロンを同じ内 容にして2日間続けて行ったので、一緒 に準備して無駄が省けた。 ・田植えをしてくれた大栄放課後児童ク ラブの子どもたちと連携できてよかった。 ・竹の器を作るのに竹林の所有者のハ ウジングさん、切るのに館長さんのご主 人、道具を借りるのに伊藤緑化、枝の 葉っぱを切るのに小学生ボランティアな ど、様々な人に協力していただきました。 ・後片付けも参加者の協力で手際よくで きました。	◎
					小学生 30人	まあまあ楽しかった 5名		
					大 人 9人	楽しくなかった 0名		
12月24日	ほくほく食 堂	・冬期休暇中の 宿題などの学習 ・調理と食事レク リエーションなど の異世代交流 ・人権学習「世界 の人日本の人み んな地球人」 ・デザートづくり	・冬休みのこどもの 孤食対応と居場所 づくり ・ボランティアによる 食事の提供や学習 支援レク活動を通 して人間性や社会性 の向上を図る ・SDGsを通じすべ ての人にとって活 力のある未来にな ることができるこ とから連動して取 り組む	1. 身体健康増進 2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼 児 1人	とても楽しかった 名	・中学生10人、高校生2人もボラン ティアで参加していただき、小学生の宿 題・クラフト作り・レクリエーション などにかかわってくれてスムーズに 進行できてよかった。 ・ボランティアさんがぐっと減る午後 も、堀江さんやf松田君がいろいろな 面でかわってくれてありがたかった。 ・地域の方の寄付も今回すごく多 くありがたかった。地域の子 どもを地域で育てる。まさに 子ども食堂でした。	◎
					小学生 54人	まあまあ楽しかった 名		
					大 人 (中学生10 高校生2 含む) 28人	楽しくなかった 名		

実施日	事業名	事業内容	目的・効果	分類	参加者数	満足度	振り返り	自己採点
1月22日	体験教室 「ともチョコづくり」	・手作りチョコをつくりラッピングし、メッセージを書く。	・手作りチョコにメッセージを添えて普段お世話になっている人に感謝の気持ちを届ける。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 4人	とても楽しかった 20名	・火気を使用せずレンジで簡単に出来るものを作った。また、材料を個々に配分した事で包丁の使い方やレンジの中の材料の変化(膨らんだり、溶ける様子)を一人一人体験することが出来てよかった。 ・感染対策や行事のやり方も工夫しながら出来、参加者にも喜ばれた。 ・行事中、率先してお手伝いしてくれる姿もみられ個々の成長を感じた。	◎
					小学生 19人	まあまあ楽しかった 2名		
					大人 4人	楽しなかった 0名		
1月29日	創作教室 「紙コップ10000個で作ってみよう！」 中止	・県立博物館から借りてきた紙コップ10000個を使って、グループまたは個人で自分の作りたいものを作る。	・無地の紙コップ10000個を積んだり、重ねたり、並べたりするワークショップを通して、友だちと協力してものづくりをする楽しさを体験する。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人	とても楽しかった 1名		
					小学生 1人	まあまあ楽しかった 1名		
					大人 1人	楽しなかった 1名		
2月19日	創作教室 「勾玉ってなんだろう？」	・古墳などから出土する勾玉の説明を聞き、高ろう石を使った勾玉づくりを体験する。	・勾玉の由来を知り、物を作る楽しさや、作った物を生活で使う喜びを味わう。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 2人	とても楽しかった 9名	・コロナウイルス感染症対応として参加者を半分の10名にして実施。 ・全員が時間内に完成できてよかった。 ・幼児と1・2年生は保護者同伴にしたので、親子で勾玉づくりができよかった。 ・自己紹介がきちんとできる子、感想発表を進んでできる子が増えてきた。 ・保護者の方と子どもたちと一緒に、作業が終わった後の片付けがきちんとできた。	◎
					小学生 8人	まあまあ楽しかった 1名		
					大人 4人	楽しなかった 0名		
2月26日	創作教室 「オリジナルエコバックを作ろう！」	・無地のエコバックに布を貼りつけたりペンで絵などを描いたりしてオリジナルエコバックを作る。	・ものづくりの楽しさや作った物を生活で使う喜びを味わう。 ・豊かな創造力と自由な感性を育む。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人	とても楽しかった 9名	・コロナウイルス感染症対応として参加者を半分の12名にして実施。 ・1年生も保護者同伴にしたことで手際よく出来た。 ・リユース服のロゴや布を使ってパッチワーク風にする等、個性の生かされた自分好みのオリジナルエコバックが出来て参加者に喜んでもらえた。	◎
					小学生 8人	まあまあ楽しかった 0名		
					大人 3人	楽しなかった 0名		

実施日	事業名	事業内容	目的・効果	分類	参加者数	満足度	振り返り	自己採点
3月19日	創作教室 「紙コップ10000個で作ってみよう！」	・県立博物館から借りてきた紙コップ10000個を使って、グループまたは個人で自分の作りたいものを作る。	・無地の紙コップ10000個を積んだり、重ねたり、並べたりするワークショップを通して、友だちと協力してものづくりをする楽しさを体験する。	2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人	とても楽しかった 6名	・作る前に前回の様子をみんなに見せ、コップの積み方や作品のイメージ作りを行ったので、すぐに取り掛かることができました。 ・普段できないたくさんの紙コップを使った作品作りの活動に、時間が足りないくらい夢中になって取り組む姿が見られてよかった。 ・作品の紹介と作品作りの感想をみんなに発表させたので、「いろいろ考えながら取り組めた。」「高いたてものができてうれしかった。」等、きちんと発表する子が増えてきた。 ・最後に、片づけをみんなが協力して行った。紙コップを集める子、それを運ぶ子、箱にきれいに並べて詰める子など、	◎
					小学生 6人	まあまあ楽しかった 1名		
					大人 1人	楽しくなかった 0名		
3月25日	ほくほく食堂	・春休みの宿題などの学習 ・調理と食事レクリエーションなどの異世代交流 ・人権学習「世界の人日本の人みんな地球人」 ・デザートづくり	・春休みのこどもの孤食対応と居場所づくり ・ボランティアによる食事の提供や学習支援レク活動を通して人間性や社会性の向上を図る ・SDGsを通じすべての人にとって活力のある未来になるようできることから連動して取り組む	1. 身体の健康増進 2. 心の健康増進 3. 知的適応能力 4. 社会的適応能力 5. 豊かな情操	幼児 1人	とても楽しかった 6名	・新型コロナウイルス特別警報が発令中の為人数制限や時間短縮、内容検討しながら、また、感染対策もしっかり行い開催できた。 ・「春休みの宿題」や「SDGsの人権学習」ともに集中して真剣に取り組む姿が見られてよかった。 ・「昼食」も黙食がきちんと出来、残菜が少なく配膳も手順よく出来た。 ・地域の方や応援企業より寄付食材をいただいたり、宿題や食事のボランティアの協力があったよかった。 ・「SDGs」の人権学習はクイズ形式等、子ども達に分かりやすい内容で好評だった。	◎
					小学生 21人	まあまあ楽しかった 6名		
					大人 3人	楽しくなかった 6名		

2021年度 児童館行事写真



4/10

ドライアイスを使って楽しい科学実験 フレンズのおせんべい作り&販売体験をしよう！



5/15



6/19

トントンドンくぎ打ち名人



7/27

米花商店街で働いてみよう！



8/28

地域の生き物を探そう！



9/28

おもしろゴミひろった選手権 海岸清掃をしよう！



10/9

ハロウィン&クッキーづくり



10/30

北栄町の自然エネルギーツアー&
自然エネルギーでやきいも作り

・ホンデリング寄付状況

	寄付点数 (冊)	寄付金額 (円)
2018～2020年	4865	64,057

2021年

4月	308	5,229
5月	29	100
7月	33	2,206
9月	554	3,130
10月	479	7,462
11月	108	932
12月	610	1,838
1月	198	5,104
2月	0	
3月	0	
計	2319	26,001

総計 6425冊 83,116円
 総計 7184冊 90,058円

・ホンデリング協力事業所

企業名	冊数	金額
2020年	1252	22,794

2021年

(株)トリーカ	113	3,383
(株)新木コーポレーション	21	671
中央高等学園専修学校	37	730
あずま園	135	1,175
J A 大栄支所	152	3,026
倉吉自動車学校	178	2,267
谷口病院	614	6,170
馬野建設	42	1,974
計	1158	15,342

ホンデリング ～本で広がる支援の輪～ とは？

本が犯罪被害に遭って身体や心を傷つけられたり、大切なものを失ったりして苦しんでいる方たちへの支援活動に繋がります。犯罪被害に遭われた方が、安心した生活を取り戻せるように力を貸してください。あなたの本のご寄付で、犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。

(2) 2022年度事業計画

(ア) 隣保館事業

・2022年度隣保館事業計画

領域	事業名	対象者	事業内容	実施頻度	備考
交流	おしゃべりサロン	一般向け	軽食の提供、見守り、高齢者・ひとり暮らしの方の交流	毎月1回	楽しめる企画と共に開催
	訪問	町全域	事業ちらしの直接配布、安否確認	随時	ほくほくプラザ及び旧北条文化会館周辺地域を拠点に実施
	絵本の読み聞かせ会	幼児とその保護者	絵本の読み聞かせ	毎月1回 (第2日曜日)	絵本の読み聞かせも実施 ※小学生ボランティアあり
	各種教室	小学生～成人	習字・ネット講座 他	習字：月2回 ネット：全8回	
人権教育	ワークショップ	一般向け	ワークショップ方式	必要に応じ	
	研修・学習等	すべて	人権に関わる学習・交流	必要に応じ	現地研修 中3交流会 他
	学習支援	子ども向け	基本的学習習慣の定着を推進	随時	
人権啓発	講演会	一般向け	分かりやすいじんけんの話 ※町計画15人権分野でテーマ設定	年6回	30人/回を想定、実施場所は適宜移動する
青少年育成	ビデオ上映	PTA・各種団体向け	必要なテーマ	必要に応じ	現地研修(教員)・PTA・自治会・保護者会・事業所研修など
	団体支援	PTA・各種団体向け	子どもに関わる団体などのサポート	必要に応じ	生涯学習出前講座など
広報	広報誌作成	一般向け	ほくほくプラザだよりの全戸配布	毎月1回	
	ホームページ	一般向け	事業紹介等	随時	
施設	貸館	一般向け	貸館	必要に応じ	
	相談	一般向け	人権、生活上の相談	必要に応じ	

・定期開催

実施日	事業名	参加者
毎月1回	避難訓練	

2022年度 分かりやすいじんけんの話(案)

【方針】

・「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」の15人権分野を5年以内にすべて実施する。(5年目)

【6月】虐待やネグレクトなど周囲の目につきにくく、被害者である子ども自身もその被害を外部に訴える力が備わっていないことから痛ましい事件に繋がることがあるため、地域全体で子どもの権利を守るために正しい知識と理解を深めてもらい誰もが安心して住みやすい町づくりを推進する。

【7月】同和問題を自分の問題として考えられる講演・啓発を行う。講演形式以外の形式(弾き語り、漫才など)にすることで、小中学校保護者など若い世代の参加増が見込まれる。また、音楽を通して心で感じる人権学習として広く周知されつつあるため毎年開催している。(4/1施行の部落差別解消条例の周知、理解促進につなげる。)

【9月/11月】セクシュアルマイノリティかどうかに関わらず、一人ひとりが違うということ、そして、すべての人が自分らしく生きていくためにまずは知ることを目的として町内2つの中学校で開催し、生徒と保護者・町民が同じテーマで共に学ぶ。

【10月】「障害者差別解消法」が2016年4月1日に施行され、障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会をつくるという目的を町民に広く周知・啓発し、障がいに対する正しい知識と理解を深めてもらうことで誰もが暮らしやすい町づくりを推進する。

【12月】就労・経済的困窮・家族の問題などで困っている生活困窮者の支援について学び、「北栄町まちづくりビジョン」にある5つの基本目標「げんき・ゆたか・えがお・やさしい・みんなのまちづくり」を踏まえながら町民すべての、基本的人権が尊重され、安心して生活できる町づくりを推進する。

【1月】個人情報保護の基本的な考え方やルール、個人情報保護法改正や、部落差別の実態を知り、マイナンバー制度導入など最近の個人情報をめぐる問題について理解を深めることで、町民すべての、基本的人権が尊重され、誰もが安心して生活できる町づくりを推進します。

実施月	対 象	テ ー マ	講 師	報 償 費
6月	大人	④子どもの人権問題	未定	15,000円/県内
7月	大人	①同和問題	未定	50,000円/県内
①9月②11月	大人	⑩性的マイノリティの人権問題	未定	130,000円/県外
10月	大人	②障がいのある人の人権問題	未定	15,000円/県内
12月	大人	⑪生活困窮者の人権問題	未定	15,000円/県内
1月	大人	⑫個人のプライバシーに関する人権問題	未定	15,000円/県内

「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」人権分野	2018	2019	2020	2021	2022
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
①同和問題	●	●	●	●	●
②障がいのある人の人権問題	●				●
③男女共同参画社会に関する人権問題			●		
④子どもの人権問題	●				●
⑤高齢者の人権問題	●				
⑥外国人の人権問題		●			
⑦病気にかかわる人の人権問題	●				
⑧刑を終えて出所した人の人権問題		●			
⑨犯罪被害者等の人権問題			●	●	
⑩性的マイノリティの人権問題	●	●	●	●	●
⑪生活困窮者の人権問題					●
⑫個人のプライバシーに関する人権問題					●
⑬インターネットにおける人権問題				●	
⑭ユニバーサルデザインの推進			●		
⑮人さ権ま問ざ題まな	・アイヌの人々				
	・ひきこもりの状態にある人の人権問題			●	
	・北朝鮮当局によって拉致された被害者等		●		
	・職場における人権問題		●		
・東日本大震災等の災害の被災者に関する人権問題				●	
★SDGsの推進				●	

SDGsは、「誰一人取り残さない社会」の実現に向け、17のゴールの達成をめざしています。

(イ) 児童館事業

2022年度 児童館事業計画（案）

ほくほくプラザ（児童館）では人権尊重を基本とし、児童健全育成と資質向上を目的とした事業を展開する。また、子ども会他の地域組織活動の育成の支援を行う。

主な内容・安全で健全な遊びの場の提供

- ・季節行事や体験活動等の実施による情操育成
- ・人を大切にし互いに思いやる心の育成
- ・将来に向け必要な力と地域への親しみ・愛着を地域と共に育む



実施月	事業名	目的	事業内容	効果	SDGs番号
4月	体験教室「科学実験」	実験を通して理科や化学を楽しみ学ぶ。	身近な物を使って実験。（自由研究の参考にしてもらう）	学習に興味を持ち、学ぶ楽しさを知る。	4.11
	体験教室「お弁当を作って出かけよう！」	お弁当作り習得。自然の中であそび親しむ。	お弁当を作って山菜の里に出かけお宝さがし等する。	お弁当作りに興味を持ち、自然の中であそび親しむ。	4.11 15
5月	創作教室「勾玉づくり」	勾玉の由来を知り物を作る楽しさを学ぶ。	勾玉の説明を聞き高ろう石を使った勾玉を作る。	想像力・表現力を養う。	4.11
	体験教室「いろいろの里と交流」	いろいろの里の高齢者の方と触れ合う。	高齢者の方と触れ合い工作など一緒につくる。	お年寄りを大事にする心を育む。（いろいろの里 石丸さん）	4.11
6月	体験教室「ちまき作り」	大人の方に作り方を教わり季節の行事を楽しむ。	団子を作り笹で巻きゆがす。	協調性を養う。	4.11
	体験教室「ぶどう」	自町の特産物を知る。	ぶどう作りのお話とハウス見学。	農業の大変さを知る。	4.11 15
7月	自然体験教室「レークサイドで遊ぼう！」	自然の豊かさと自町の公園を知る。	レークサイドで体を動かす。	自町に愛着を持ち誇りに思う気持ちを育む。	4.11 15
	創作教室「エコバック」	物を作る楽しさや、作った物を生活で使う喜びを味わう。	無地のバックに絵を書いたり布を貼り付ける。	想像力・表現力を養う。	4.11
8月	親子自然体験教室（星を見る会）	星取県の夜空を観察し自然の豊かさを学ぶ。	野外で天体望遠鏡を使って観察、星の説明を聞く。	星に興味を持ち自県の素晴らしさに気づく。	4.11 15
	自然体験教室「お魚教室」	北栄町の川の生態系を知る。	川に入り魚を捕まえて観察する。	川を綺麗にする意識を持つ。	4.11 14

9月	自然体験教室 (カヌー)	野外の活動を通して親睦を 深め自然の豊かさを知る。	船上山少年自然の家でカヌー 体験をする。	野外活動の楽しさを知る。	4.11
	地域奉仕活動「コナン 通りをきれいにしよう &巨大迷路で遊ぼう」	ボランティア活動を通じて 地域に愛着を持つ。	コナン通りの清掃活動をす る。その後巨大迷路で遊ぶ。	自分たちの地域は自分たちで 守る気持ちを育む。	4.11 15
10月	体験教室 (ハロウィン クッキーづくり)	外国の文化を学ぶ。	ハリス先生にハロウィンの謂 れや様子等お話を聞く。	外国の文化の多様性を学ぶ。	4.11
	体験教室「座禅体験& お台場であそぼう！」	集中力を養う。 自然の中であそび親しむ。	大広寺さんで座禅体験し、そ の後お台場公園に移動して遊 ぶ。	集中力を養う。 自然の中であそび親しむ。	4.11
11月	職場体験学習「警察 署」	自分達の暮らしを守ってく れる警察署の仕事を知る。	パトカー、白バイ乗車体験。	警察官のおかげで生活が守ら れている事を学ぶ。	4.11
	創作教室 「クリスマスツリー」	物を作る楽しさや、作った 物を生活で使う喜びを味わ う。	Kクレイ粘土を使ってクリスマ スツリーを作る。	想像力や表現力を養う。	4.11
12月	体験教室 「門松づくり」	物を作る楽しさや、作った 物を生活で使う喜びを味わ う。	竹で器を作り松等を使い飾 る。	想像力や表現力を養う。	4.11
	創作教室「段ボール収 納箱」	物を作る楽しさや、作った 物を生活で使う喜びを味わ う。	布を貼ったりペイントして片 付け収納箱を作る。	想像力や表現力を養う。	4.11
1月	体験教室「博物館の出 前講座」	物を作る楽しさや、作った 物を生活で使う喜びを味わ う。	自由に工作する。	想像力・表現力を養う。	4.11
	体験教室「ともチョコ 作り」	チョコのつくり方を学ぶ。 メッセージを書き感謝の気 持ちは伝える。	ともチョコを作りメッセー ジを書く。	協調性を養う。	4.11
2月	体験教室「恵方巻づ くり」	由来を伝え季節の行事を楽 しむ。	みんなで長い恵方巻を作る。	協調性を養う。	4.11
	創作教室「カラーソル ト」	物を作る楽しさや、作った 物を生活で使う喜びを味わ う。	塩に絵具で色を付け飾りをつ ける。	想像力・表現力を養う。	4.11
3月	職場体験学習「コナン 空港へいってみよう」	空港の裏側をみて企業努力 を学ぶ。	鳥取コナン空港見学。	愛着を持ち誇りに思う気持ち を育む。	4.11.8
	職場体験学習「消防 署」	自分達の暮らしを守ってく れる消防士の仕事を知る。	消防車、救急車の乗車体験。 消防士の訓練の様子を見学し 防災の話聞く。	消防士のおかげで生活が守ら れてる事を学ぶ。	4.11

領域	事業名	対象者	事業内容	実施頻度	SDGs 番号
交 流	親子会・子ども会 サポート出前講座	幼児～小学生とその保護者	親子会・子ども会に読み聞か せ会やレクリエーションなど の出前講座に出向き、交流	随時	4.11 17